

## 新島の火山活動解説資料（令和元年9月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### 活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図1）  
式根監視カメラ（丹後山の西南西約4km）による観測では、噴気は認められません。
- ・地震や微動の発生状況（図2 - ）  
新島付近を震源とする火山性地震の発生はなく、地震活動は低調に推移しています。  
火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図2 - 、図3、図4）  
GNSS連続観測及び傾斜計による観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。



図1 新島 丹後山周辺の状況  
（9月17日、式根監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。

次回の火山活動解説資料（令和元年10月分）は令和元年11月11日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、東京都及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

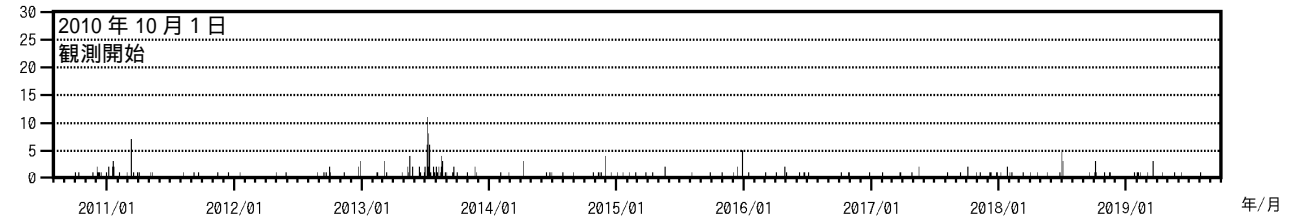
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

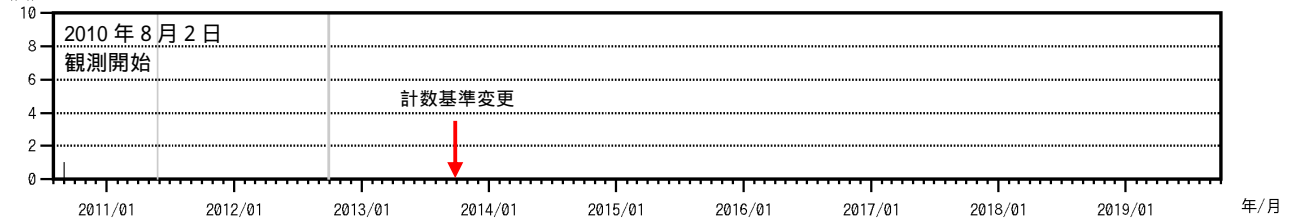
【計数基準の変遷】

A型地震	2010年10月1日（観測開始）～	瀬戸山南から半径約8km、深さ約20km以内
B型地震	2010年8月2日～2013年9月30日	瀬戸山南振幅0.8 $\mu$ m/s以上
初期	2010年8月2日～2013年9月30日	瀬戸山南振幅0.8 $\mu$ m/s以上
変更	2013年10月1日～	瀬戸山南振幅4.0 $\mu$ m/s以上

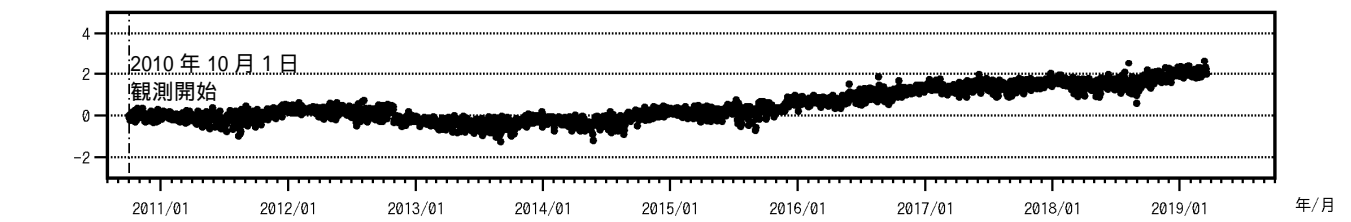
① 日別A型地震回数



② 日別B型地震回数



③ GNSS観測 若郷-新島（国）（基線長 6173m）



④ GNSS観測 式根島（国）-新島（国）（基線長 6092m）

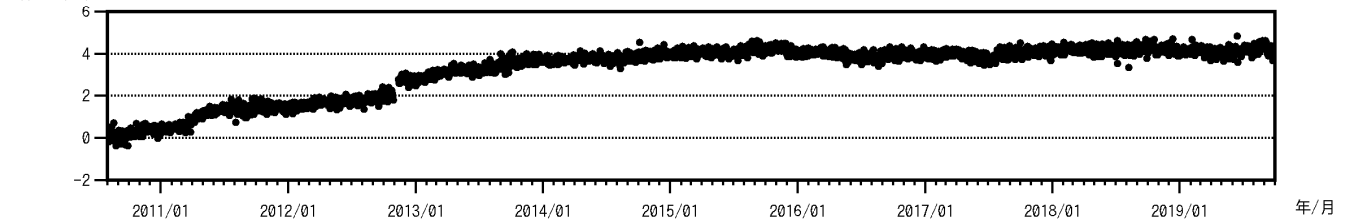


図2 新島 火山活動経過図(2010年8月2日～2019年9月30日)

のグラフの灰色部分は機器障害のため欠測を示します。  
、のグラフは図4のGNSS基線、に対応しています。

- ・新島付近を震源とする火山性地震の発生はなく、地震活動は低調に推移しています。
- ・GNSS連続観測及び傾斜計による観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

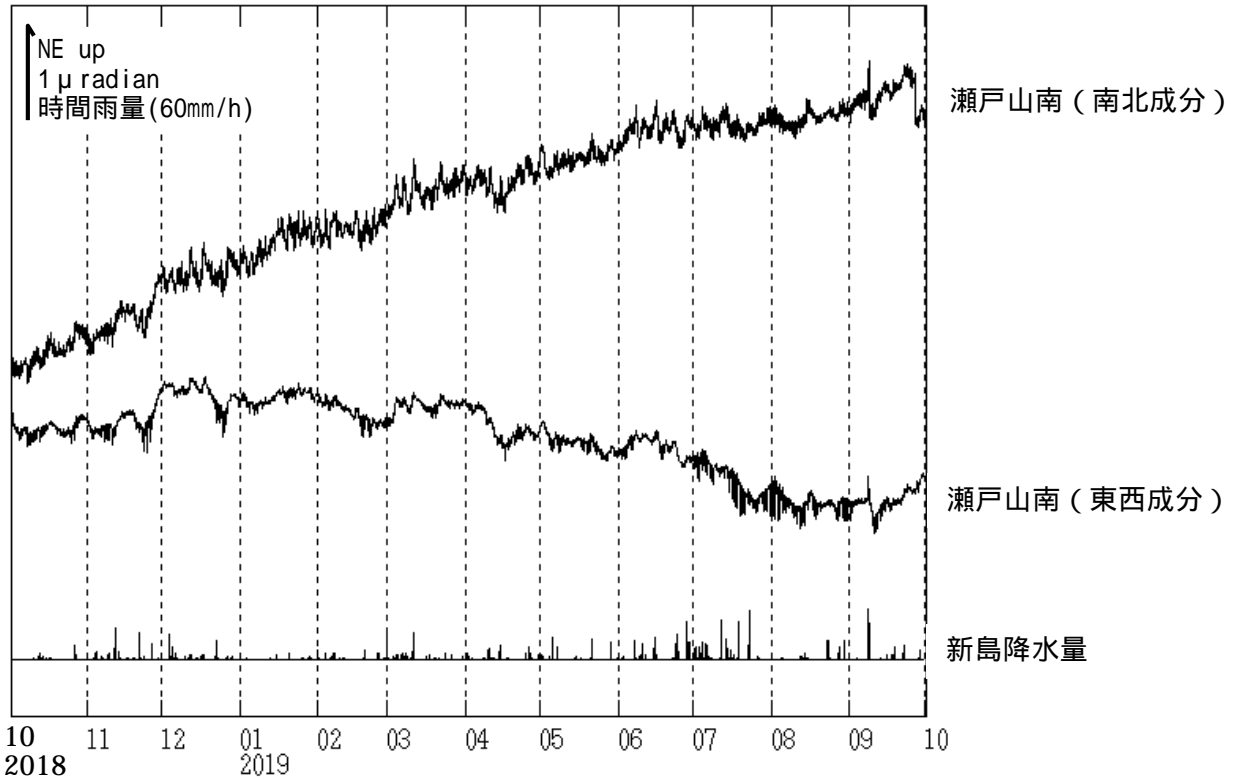


図3 新島 瀬戸山南観測点の傾斜変動（2018年10月1日～2019年9月30日）  
・火山活動によるとみられる変動は認められません。

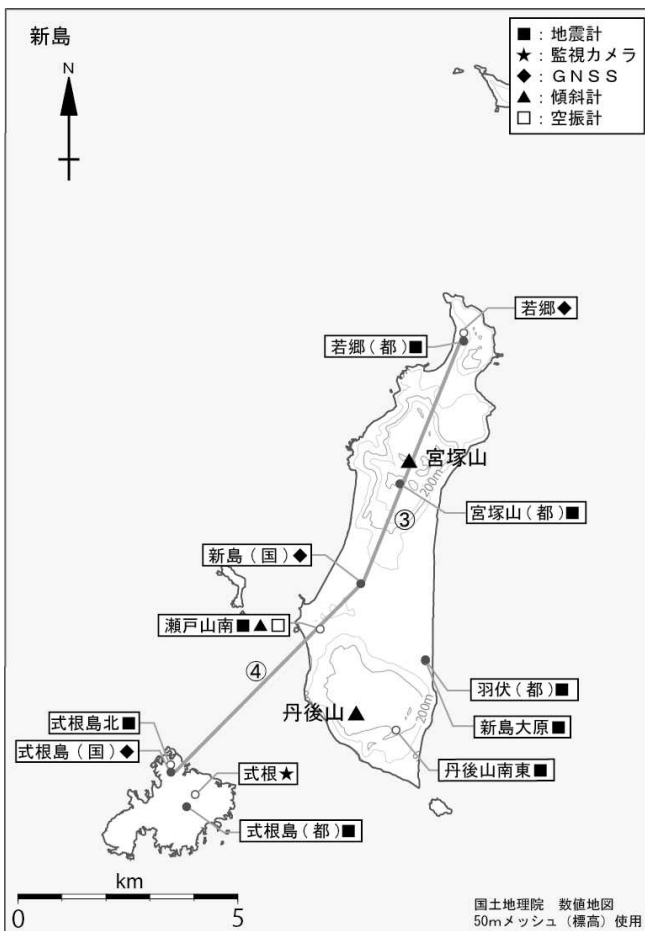


図4 新島 観測点配置図  
GNSS 基線は図2の 、 に対応しています。

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
（国）：国土地理院、（都）：東京都